

秋田県医師確保計画（R2～5 年度） の評価について

令和 6 年 1 1 月
健康福祉部医療人材対策室

1 目標医師数に対する評価

医療圏名	前計画策定時			現計画策定時			医療施設従事医師数		
	医師偏在指標	医師偏在指標(下位33.3%相当値)	順位	医師偏在指標(旧二次医療圏)	医師偏在指標(下位33.3%相当値)	順位	目標医師数計画値R5	R4(対目標)	目標比
全国	239.8			255.6				339,623	
秋田県	186.3	215.0	41／47	199.4	228.0	41／47	2,371	2,323 98.0%	-48人
秋田周辺	251.8	162.3	61／335	261.3	179.3	65／335	1,237	1,293 104.5%	56人
大館・鹿角	124.0		321／335	129.1		327／335	196	161 82.1%	-35人
北秋田	130.2		309／335	159.2		271／335	38	36 94.7%	-2人
能代・山本	145.6		273／335	155.5		282／335	154	154 100.0%	0人
由利本荘・にかほ	149.6		262／335	173.2		237／335	190	202 106.3%	12人
大仙・仙北	143.1		280／335	154.7		284／335	204	216 105.9%	12人
横手	159.0		233／335	181.1		217／335	186	193 102.7%	7人
湯沢・雄勝	133.1		303／335	132.5		322／335	83	68 81.9%	-15人

(参考)

医療圏・診療科別医師数

圏域	秋田県		秋田周辺		大館・鹿角		北秋田		能代・山本		由利本荘・にかほ		大仙・仙北		横手		湯沢・雄勝	
医師確保計画目標 R5年度	2,371		1,237		196		38		154		190		204		186		83	
医療施設従事医師数	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4	H30	R 4
総 数	2,296	2,323	1,270	1,293	174	161	38	36	158	154	191	202	205	216	190	193	70	68
内科	810	844	420	449	60	53	17	16	56	63	80	79	69	73	78	76	30	35
小児科	124	120	75	75	10	9	2	2	6	6	11	8	9	9	9	9	2	2
精神科	154	156	90	94	12	8	2	2	10	7	7	11	19	22	12	9	2	3
外科	219	201	108	105	14	15	8	5	21	14	19	16	18	18	24	21	7	7
整形外科	168	177	91	92	13	17	3	4	11	13	14	16	16	14	12	13	8	8
産婦人科	105	99	58	54	7	7	2	2	8	8	10	9	8	9	8	7	4	3
皮膚科	55	54	39	37	2	1	0	0	4	5	4	4	3	4	3	3	0	0
泌尿器科	83	79	44	42	5	6	2	1	9	7	5	7	8	9	6	6	4	1
眼科	85	83	51	50	4	4	1	1	7	6	6	7	5	5	9	8	2	2
脳神経外科	66	62	37	33	8	8	0	0	2	3	4	5	10	8	3	3	2	2
耳鼻咽喉科	66	69	32	35	7	7	1	1	5	5	4	4	7	7	6	7	4	3
リハビリテーション科	24	19	10	10	5	2	0	0	2	3	2	1	5	3	0	0	0	0
その他	337	360	215	217	27	24	0	2	17	14	25	35	28	35	20	31	5	2

2-1 秋田県の現状〔医師確保計画 第1章第4節〕

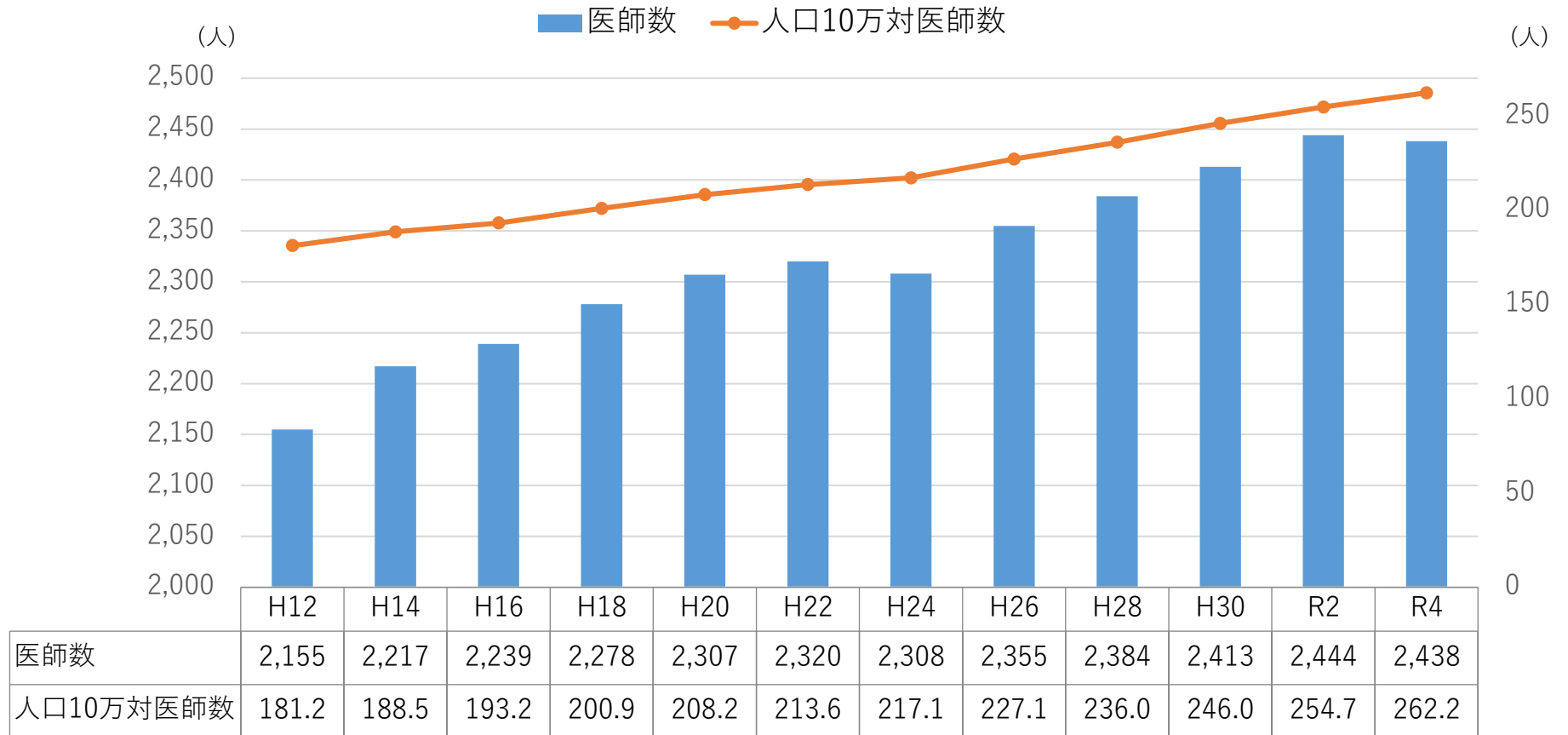
○県内の医師数の推移

本県の医師数は、令和4年末現在で2,438人で、令和2年に比べ6人減少（人口10万対7.5人増加）しており、依然、全国との格差があります。

区分	秋田県		全国 (人口10万対)	対全国平均 (%)
	医師数(人)	人口10万対(人)		
平成12年末	2,155	181.2	201.5	89.9
14年末	2,217	188.5	206.1	91.5
16年末	2,239	193.2	211.7	91.3
18年末	2,278	200.9	217.5	92.4
20年末	2,307	208.2	224.5	92.7
22年末	2,320	213.6	230.4	92.7
24年末	2,308	217.1	237.8	91.3
26年末	2,355	227.1	244.9	92.7
28年末	2,384	236.0	251.7	93.8
30年末	2,413	246.0	258.8	95.1
令和2年末	2,444	254.7	269.2	94.6
4年末	2,438	262.2	274.7	95.4

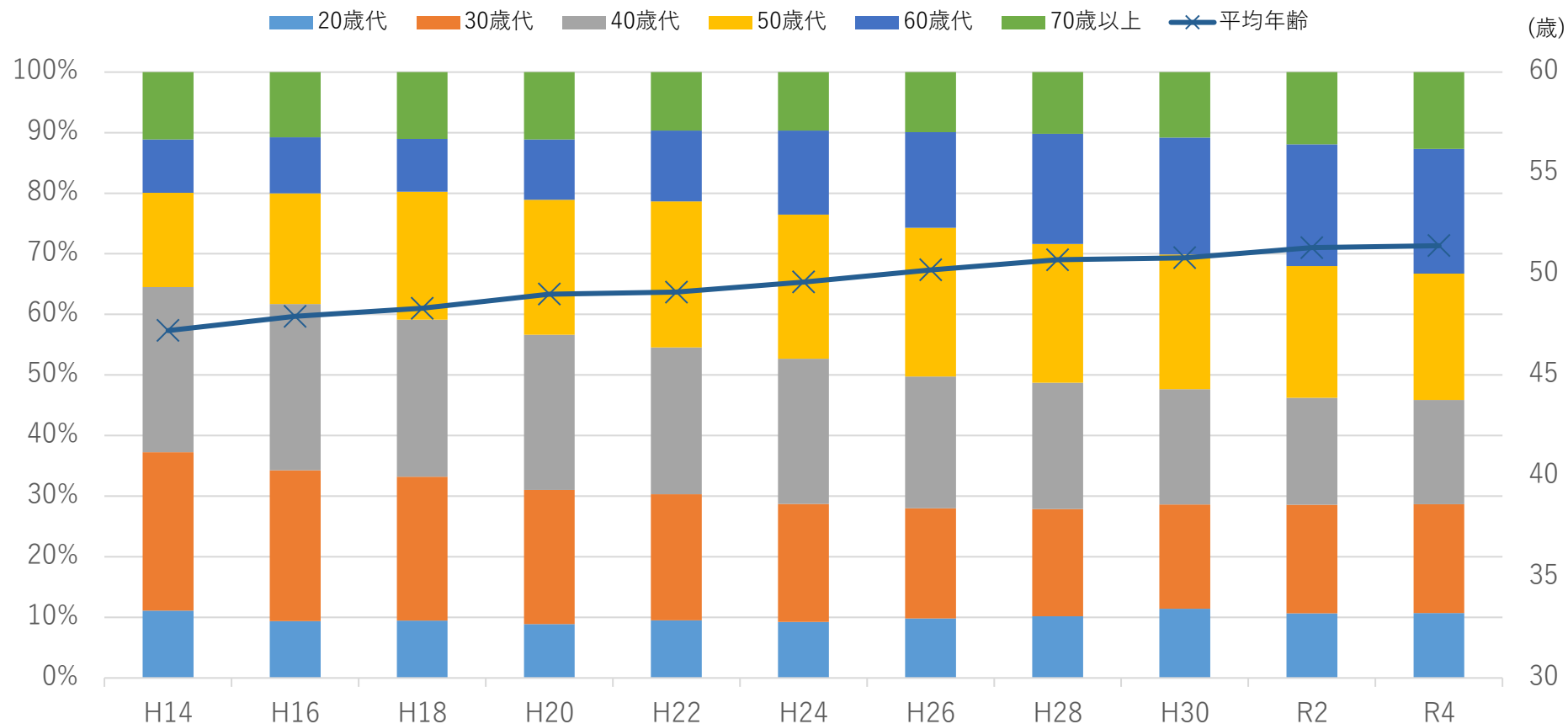
医師数と人口10万対医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」



○医師の年齢構成・平均年齢の推移

令和4年の県内医師の年齢構成は、60歳代が20.6%、50歳代が20.9%、40歳代が17.2%、30歳代が18.0%などとなっています。平均年齢は平成10年以降上昇を続けており、令和4年は51.4歳となっています。



医師の年齢構成・平均年齢の推移

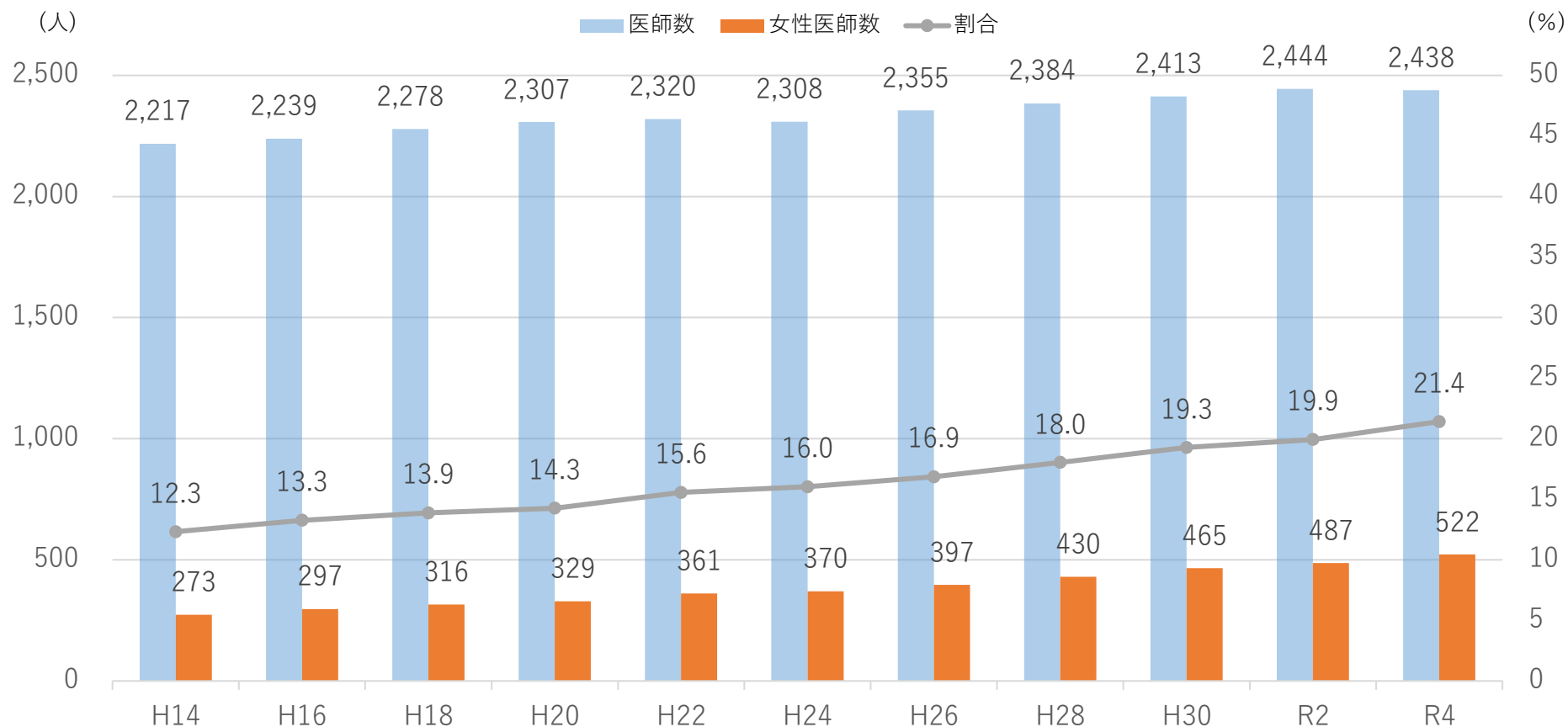
(人)

	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R4
20歳代	246	210	216	205	221	213	231	243	276	261	261
30歳代	580	557	540	511	482	450	428	421	415	437	438
40歳代	604	615	591	591	563	553	512	498	459	432	419
50歳代	345	409	481	514	559	549	578	545	536	531	509
60歳代	195	207	199	229	271	320	372	434	466	491	502
70歳以上	247	241	251	257	224	223	234	243	261	292	309
平均年齢 (歳)	47.2	47.9	48.3	49.0	49.1	49.6	50.2	50.7	50.8	51.3	51.4

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

○女性医師数の推移

医師総数に占める女性医師の割合は年々上昇し、令和4年は21.4%（全国23.6%）となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

○診療科ごとの医療施設従事医師数の推移

平成14年と比較すると、小児科、外科、産婦人科等で減少しており、そのほかの診療科では微増から増加傾向にあり、中でも精神科、皮膚科は比較的增加割合が高くなっています。

	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R4	H14→R4
内科	825	823	810	808	833	822	827	821	810	835	844	102.3%
小児科	125	130	122	128	132	127	126	123	124	120	120	96.0%
精神科	140	146	138	152	152	147	153	149	154	158	156	111.4%
外科	233	220	221	219	204	209	205	208	219	205	201	86.3%
整形外科	163	163	152	157	159	160	165	165	168	177	177	108.6%
産婦人科	111	106	97	99	102	107	107	109	105	107	99	89.2%
皮膚科	48	52	48	48	45	49	50	52	55	58	54	112.5%
泌尿器科	72	71	74	73	75	76	77	77	83	85	79	109.7%
眼科	86	87	80	89	80	87	86	89	85	87	83	96.5%
脳神経外科	61	59	59	56	61	67	68	67	66	61	62	101.6%
耳鼻咽喉科	63	58	55	62	65	63	62	63	66	69	69	109.5%
リハビリテーション科	21	24	21	26	27	26	28	23	24	21	19	90.5%

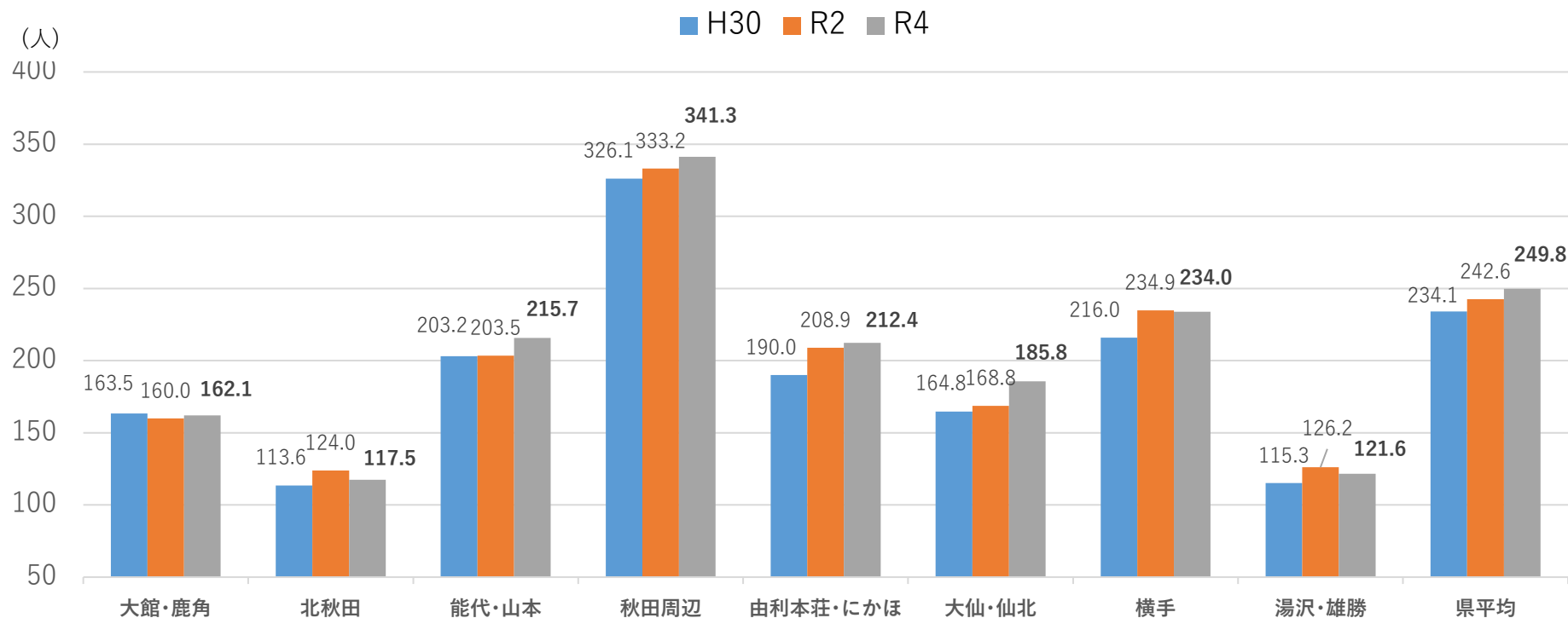
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

○二次医療圏ごとの医療施設従事医師数の状況

人口10万対の医療施設従事医師数を医療圏別でみると、秋田周辺が341.3人と最も多く、最も低い北秋田では117.5人となっており、地域偏在が顕著となっています。

区分	大館・鹿角	北秋田	能代・山本	秋田周辺	由利本荘・にかほ	大仙・仙北	横手	湯沢・雄勝	全圏域
医療施設従事医師数	161	36	154	1,293	202	216	193	68	2,323
人口10万対	162.1	117.5	215.7	341.3	212.4	185.8	234.0	121.6	249.8

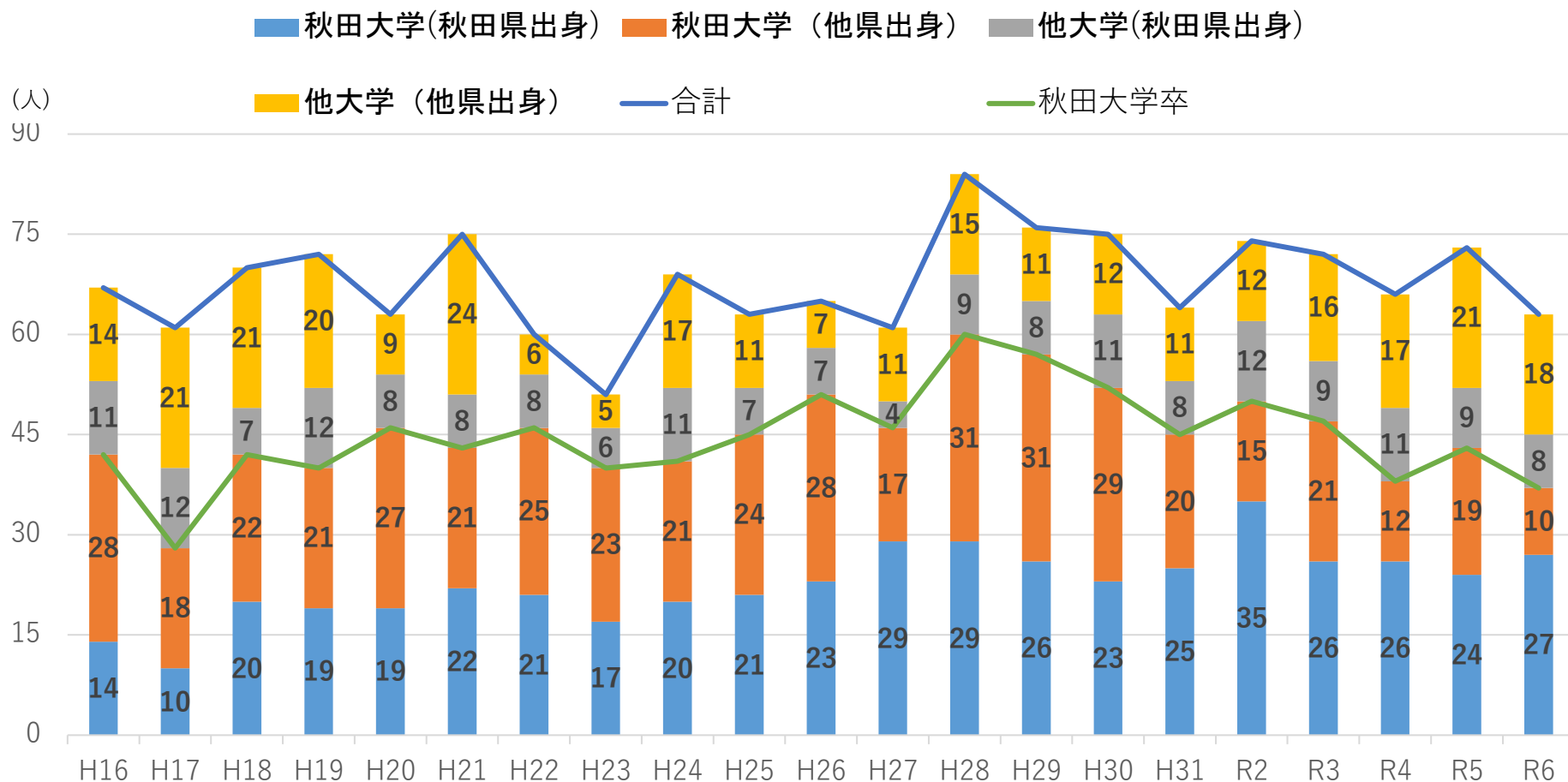
二次医療圏ごとの人口10万対医療施設従事医師数の推移



○県内臨床研修医採用数の推移

平成16年以降、県内の臨床研修医採用数の平均は約68人で、最も多かったのは平成28年の84人、最も少なかったのは平成23年の51人です。

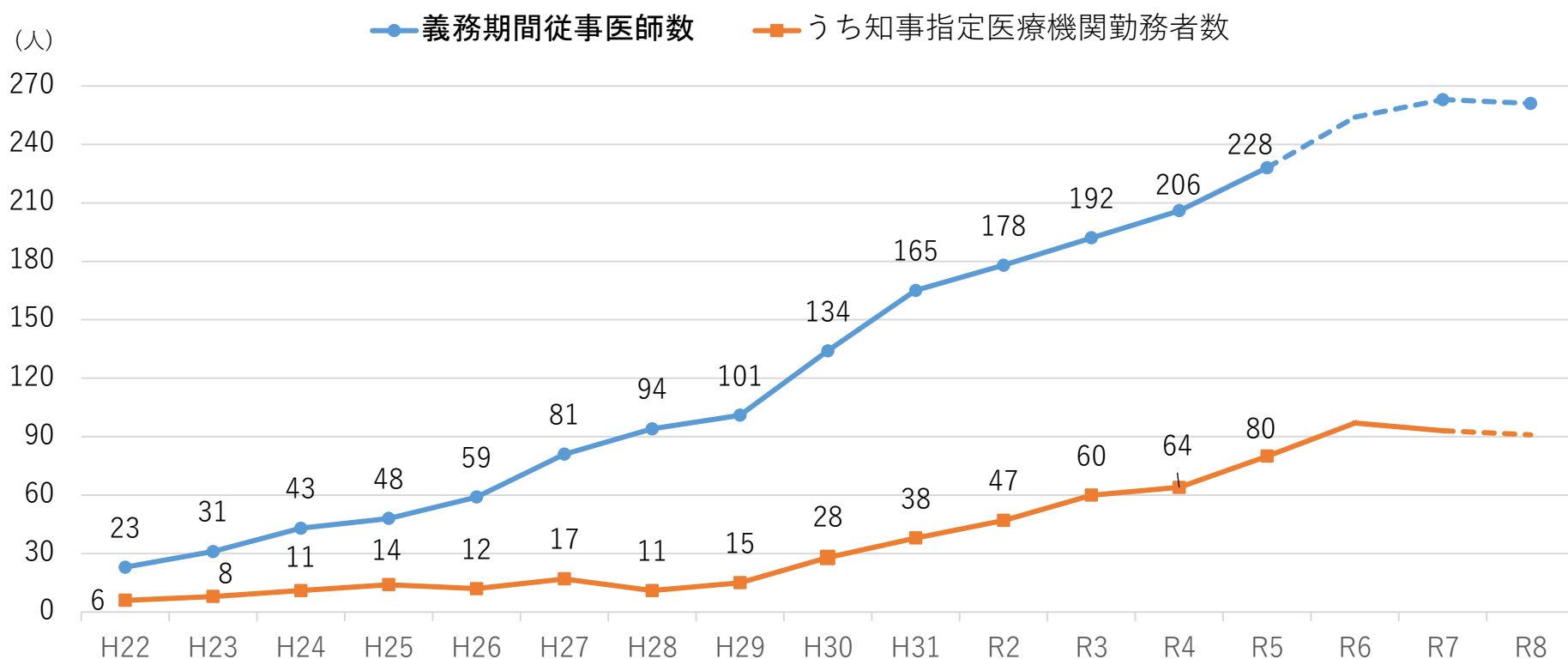
近年は、臨床研修医採用数の約6割が秋田大学医学部出身者となっています。



○修学資金貸与医師数の推移

県の修学資金の貸与を受け、義務期間として県内の医療機関で勤務する医師は年々増加しており、令和5年時点では228人となっており、今後も増加する見込みです。知事指定医療機関で勤務する医師も増えており、令和5年時点で80人となっています。

令和5年度までの実績及び令和6年度以降の見込み



医療人材対策室調べ

[第5章 産科における医師確保計画関係]

○出生数の推移（総数及びうち母の年齢が35歳以上）

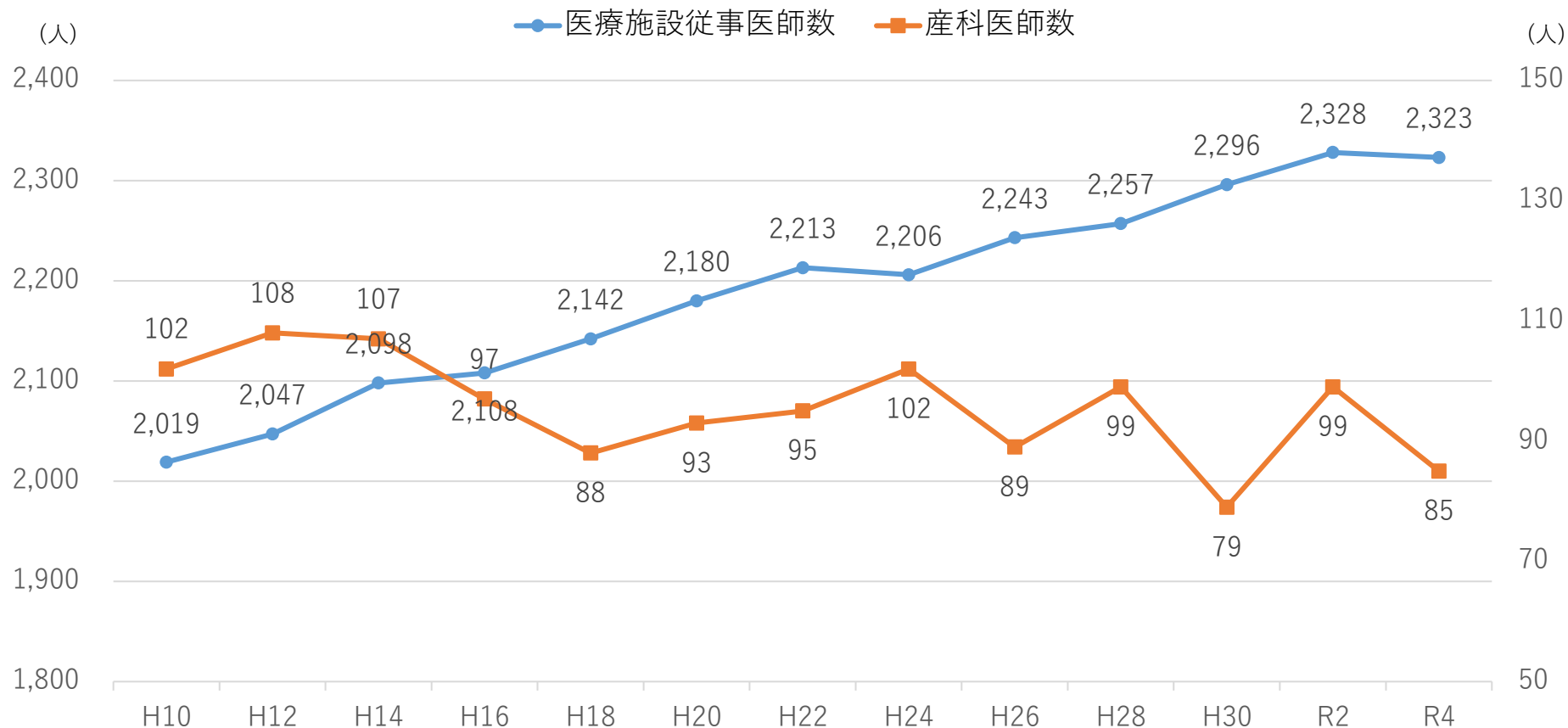
本県の令和5年の出生数は平成18年に比べ4,115人（53.3％）減少している一方、母の年齢が35歳以上の割合は、15.1％から31.1％に増加しています。

区分	秋田県			全国		
	出生数（人）		母の年齢 35歳以上の 割合（％）	出生数（人）		母の年齢 35歳以上の 割合（％）
	総数	母の年齢 35歳以上		総数	母の年齢 35歳以上	
平成18年	7,726	1,165	15.1	1,092,674	192,914	17.7
23年	6,658	1,384	20.8	1,050,807	259,552	24.7
28年	5,666	1,474	26.0	977,242	278,214	28.5
令和2年	4,499	1,260	28.0	840,835	245,896	29.2
3年	4,335	1,237	28.5	811,622	243,311	30.0
4年	3,992	1,164	29.2	770,759	231,323	30.0
5年	3,611	1,122	31.1	727,288	221,288	30.4

厚生労働省「人口動態調査」

○産科医師数（医療施設従事医師数）の推移

全県の医師数が増加傾向にある中、産科医師数については、平成12年から減少傾向にあり、令和4年は85人となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

○分娩取扱施設の施設数、医療従事者数及び分娩件数

県内の分娩取扱施設は平成28年に比べ4減少し19施設となっています。

分娩取扱施設に常勤で従事する産科(産婦人科)医は67人、小児科(新生児担当)医は59人、麻酔科医は50人、助産師は212人となっています。また、分娩件数は4,496件（うち住所地が県外の者の里帰り分娩が700件）となっています。

(単位：施設、人、件)

区分	分娩取扱施設数 *			医療従事者数(周産期関連)*				分娩件数 *	
	病院	診療所	計	産科(産婦人科)医数 *	小児科(新生児担当)医数	麻酔科医数	助産師数 *	総数	うち里帰り分娩
大館・鹿角	2→1	0	2→1	6→5	4	3→2	27→12	675→454	130→61
北秋田	1	0	1	1	1	0	9	110→32	18→0
能代・山本	1	0	1	4	2→3	0	20→17	500→287	135→70
秋田周辺	5	2	7	37	18→38	31→37	106→94	2,961→2,136	542→300
由利本荘・にかほ	2→1	1	3→2	6→5	4→3	3→4	17→10	695→446	125→67
大仙・仙北	2	2→1	4→3	7→6	5→3	0→5	34→29	659→445	129→40
横手	2	1→0	3→2	6→7	5	0→1	25→25	841→481	196→116
湯沢・雄勝	1	1	2	3→2	2	0→1	14→16	279→215	72→46
計	16→14	7→5	23→19	70→67	41→59	37→50	252→212	6,720→4,496	1,347→700

県「周産期医療に関する実態調査」

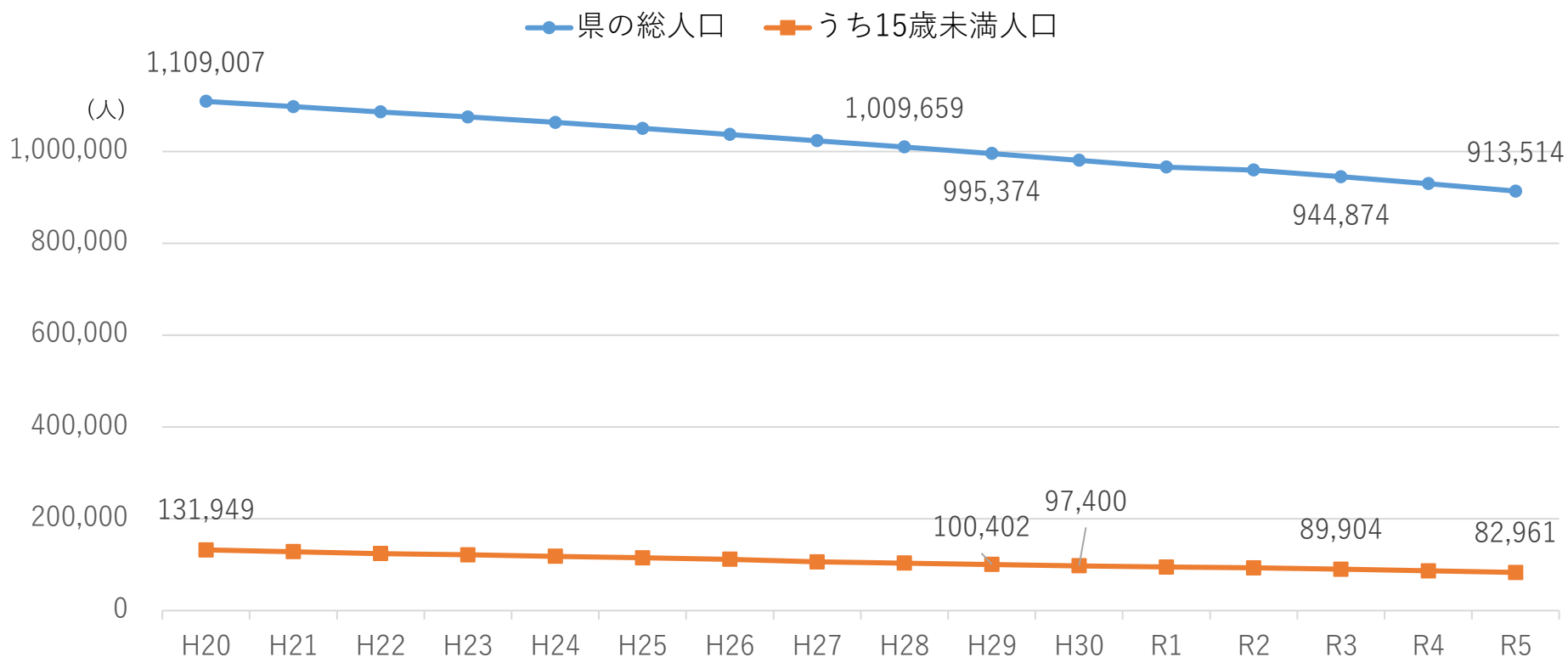
* 分娩取扱施設数・医療従事者数(他部門との兼任含む)はR5年4月1日現在 (H28→R5)。産科医・助産師は分娩に従事する者に限る (「三師調査」等とは一致しない)。分娩件数は各年1月1日～12月31日の実績 (H28→R4)。

[第6章 小児科における医師確保計画関係]

○年少人口の推移

本県の年少人口（15歳未満）は、一貫して減少傾向にあり、平成30年に10万人を割ってから令和5年までの5年間で14,439人（14.8%）減少しています。

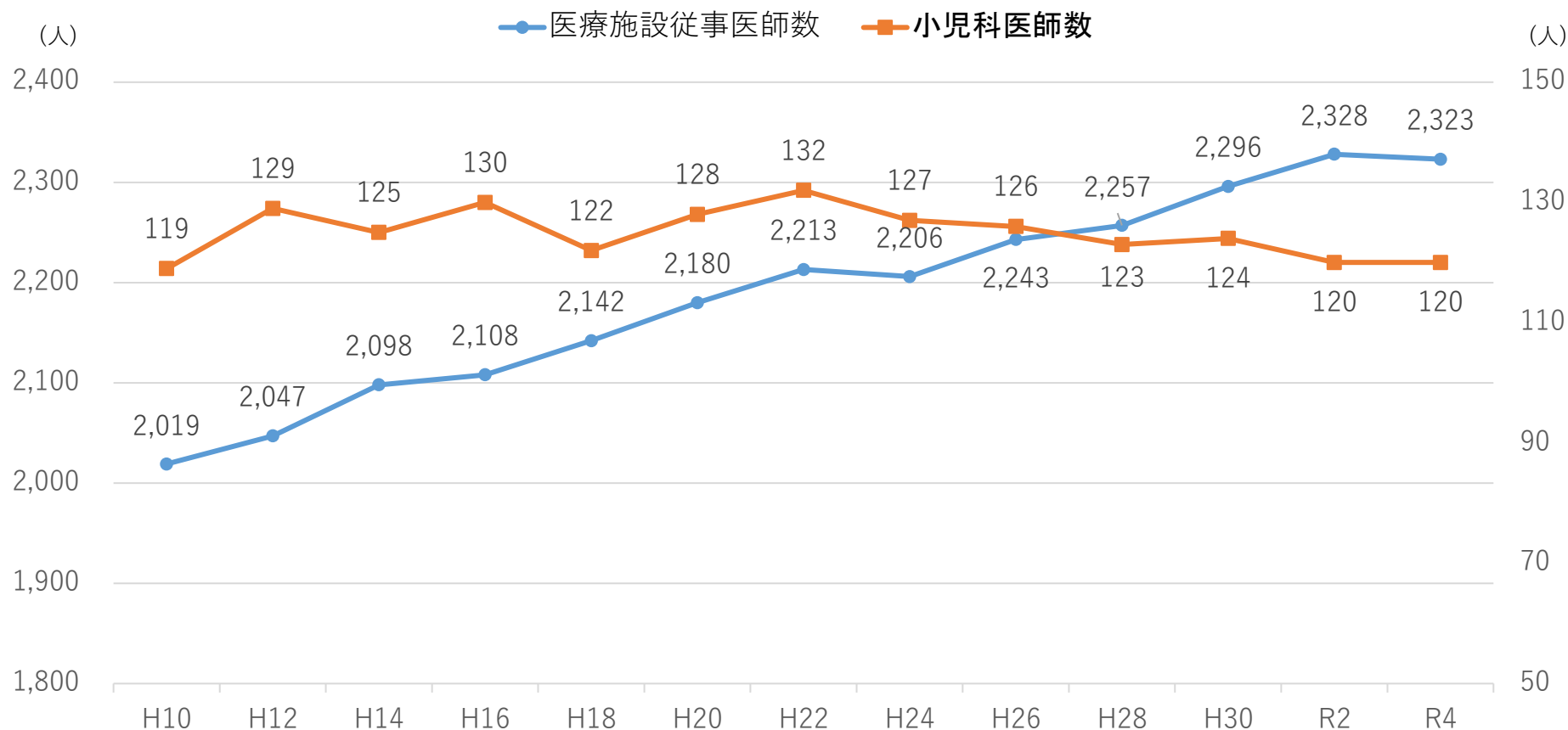
県内の総人口及び15歳未満人口の推移



県「年齢別人口流動調査」

○小児科医師数（医療施設従事医師数）の推移

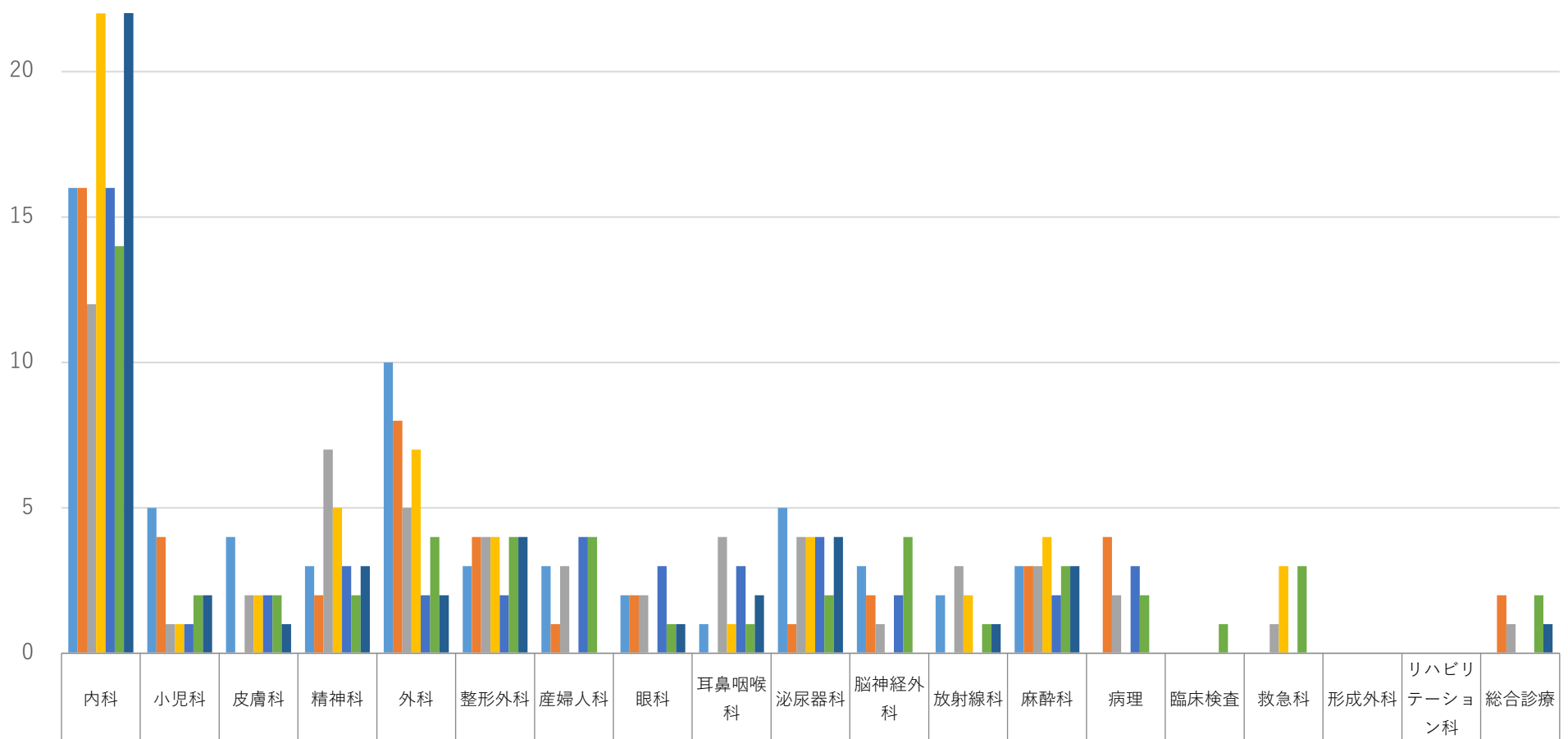
全県の医師数が増加傾向にある中、小児科医師数については、平成22年以降微減傾向にあり、令和4年は120人となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

専門研修プログラム専攻医（県内基幹施設）の推移

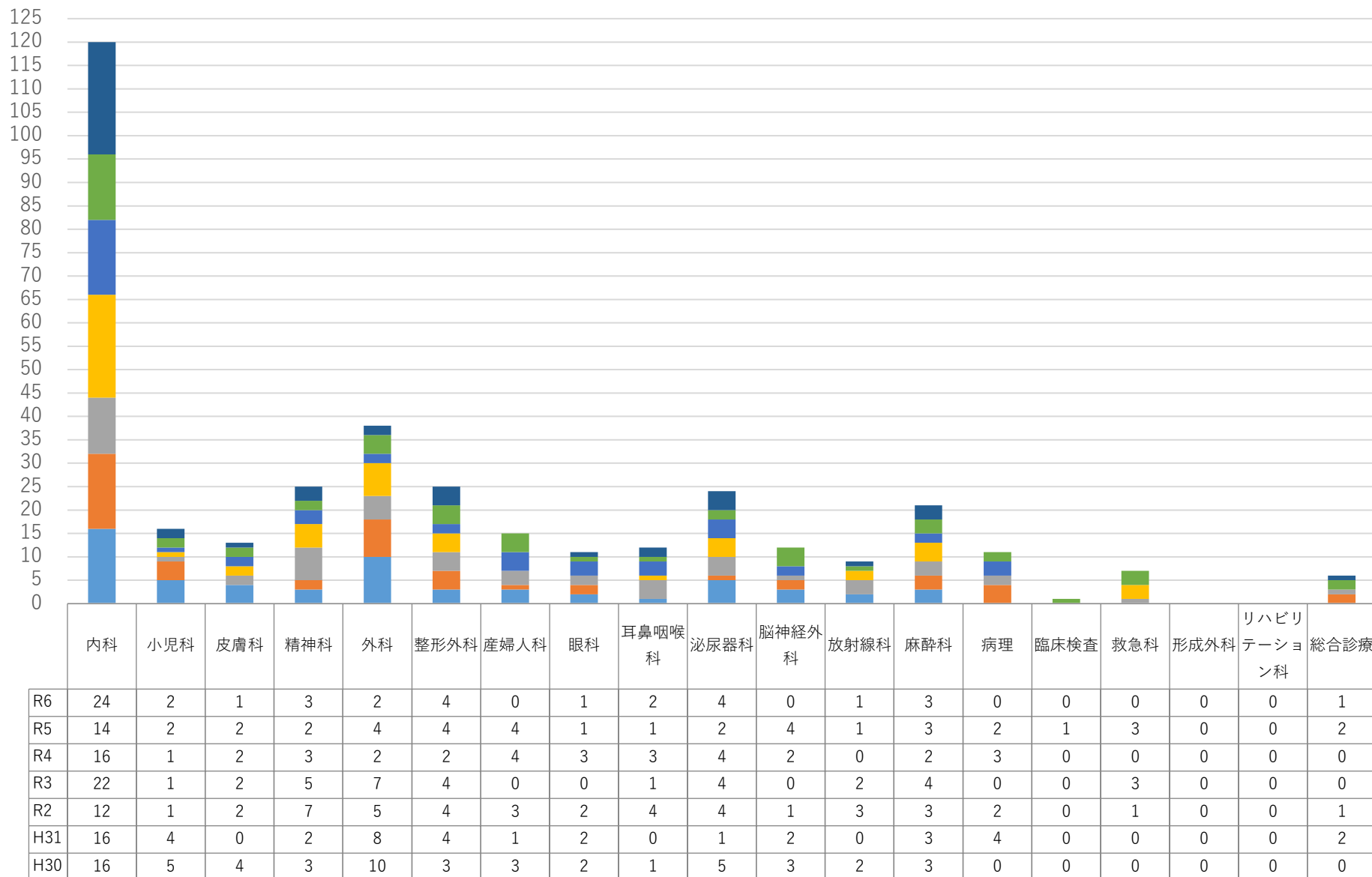
H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6



	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療
H30	16	5	4	3	10	3	3	2	1	5	3	2	3	0	0	0	0	0	0
H31	16	4	0	2	8	4	1	2	0	1	2	0	3	4	0	0	0	0	2
R2	12	1	2	7	5	4	3	2	4	4	1	3	3	2	0	1	0	0	1
R3	22	1	2	5	7	4	0	0	1	4	0	2	4	0	0	3	0	0	0
R4	16	1	2	3	2	2	4	3	3	4	2	0	2	3	0	0	0	0	0
R5	14	2	2	2	4	4	4	1	1	2	4	1	3	2	1	3	0	0	2
R6	24	2	1	3	2	4	0	1	2	4	0	1	3	0	0	0	0	0	1

専門研修プログラム専攻医（県内基幹施設）の推移（累計）

■ H30 ■ H31 ■ R2 ■ R3 ■ R4 ■ R5 ■ R6

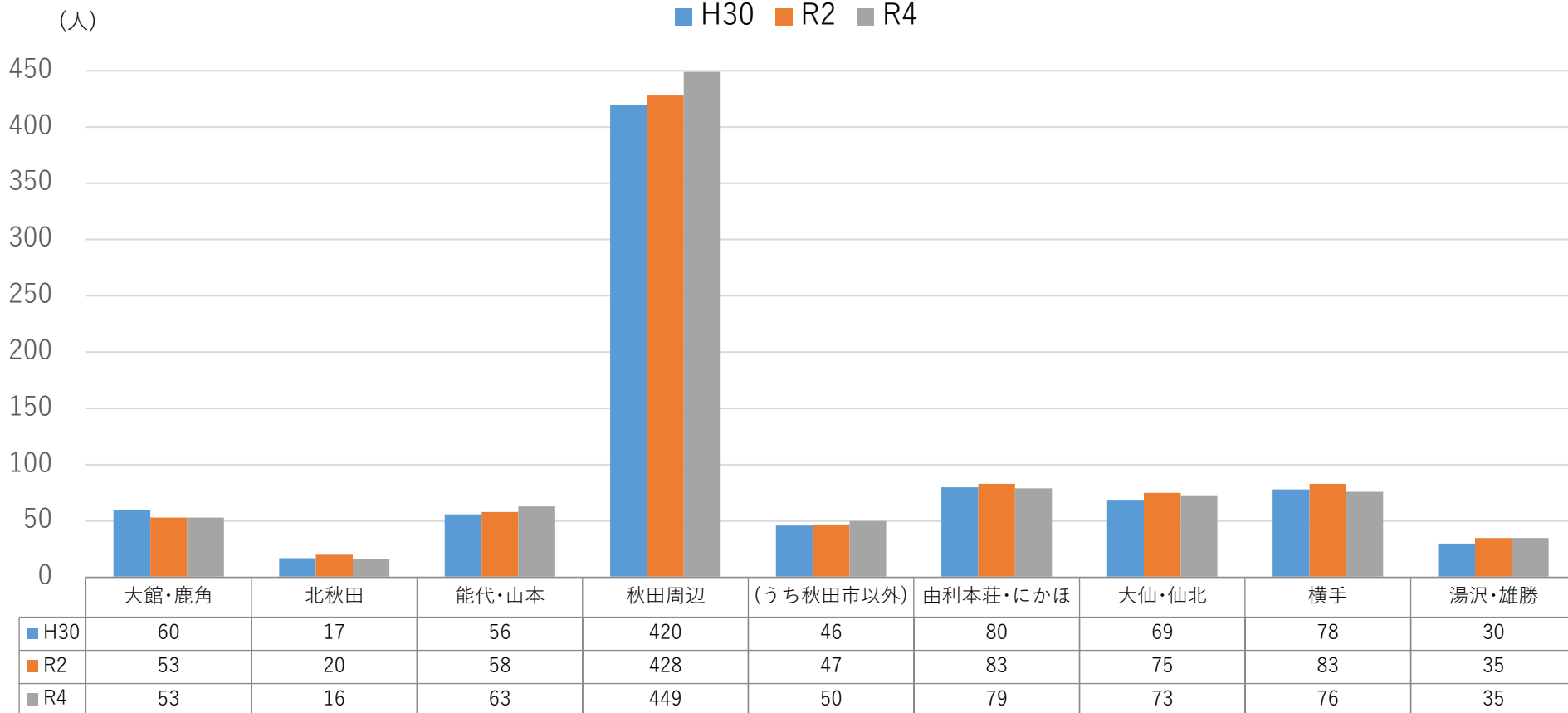


二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

内科

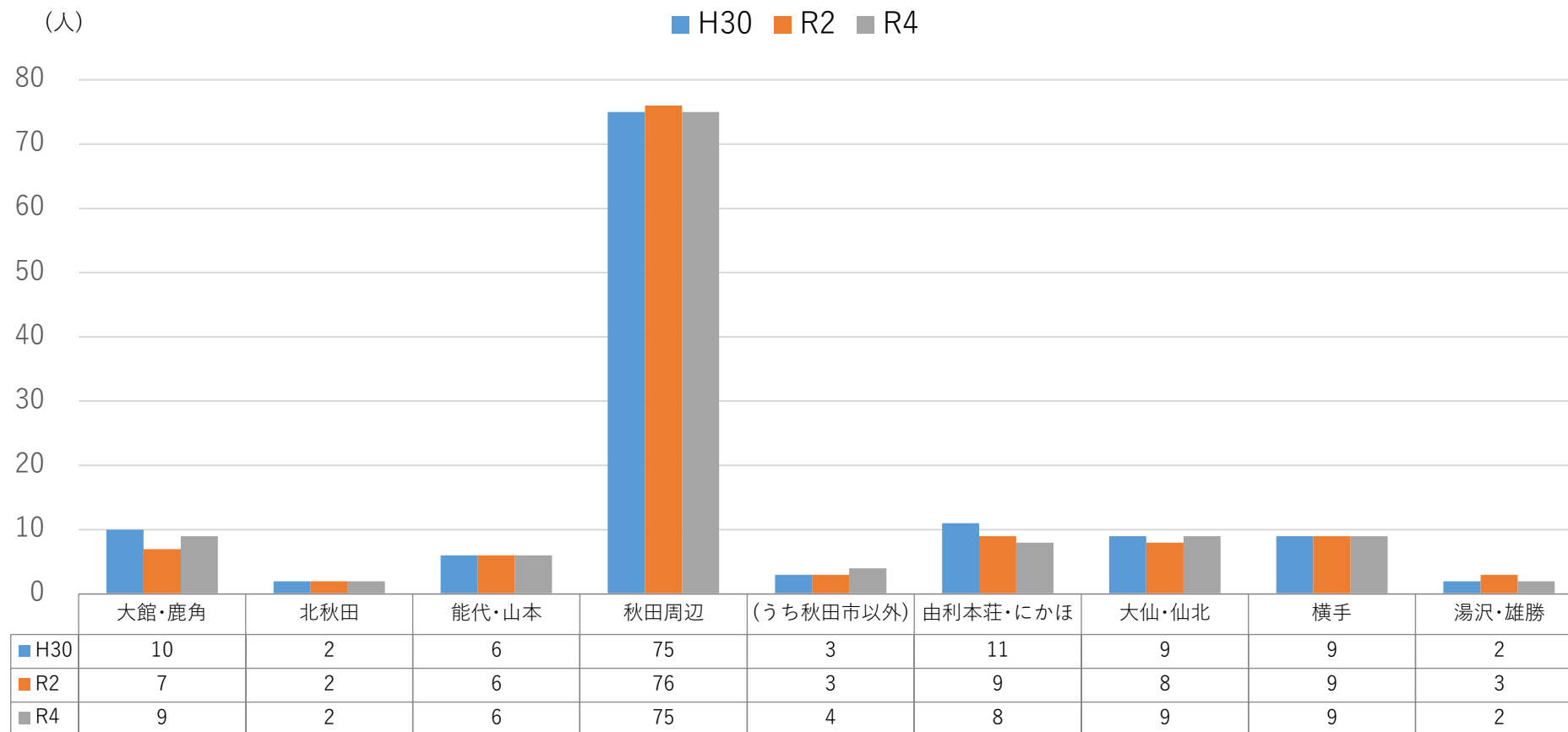
■ H30 ■ R2 ■ R4



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

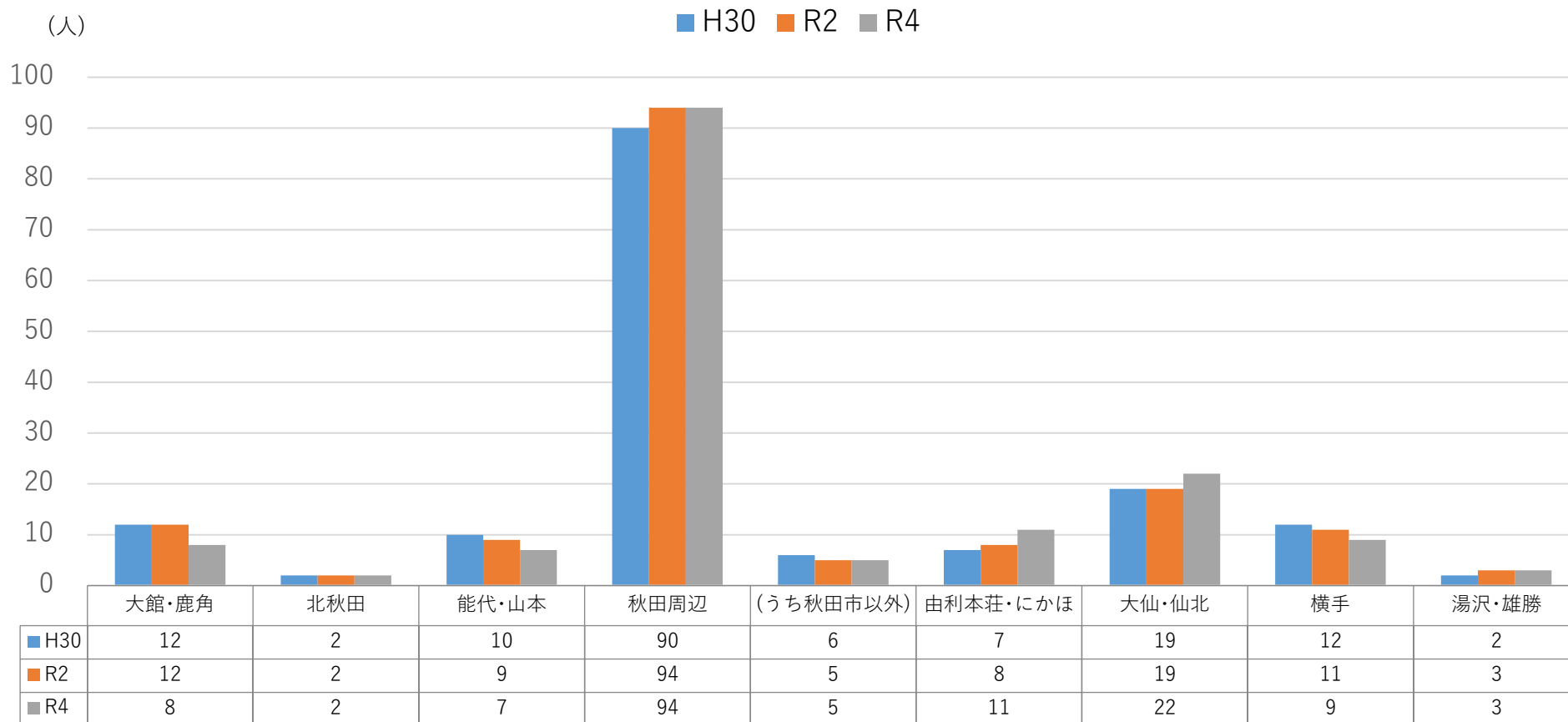
小児科



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

精神科



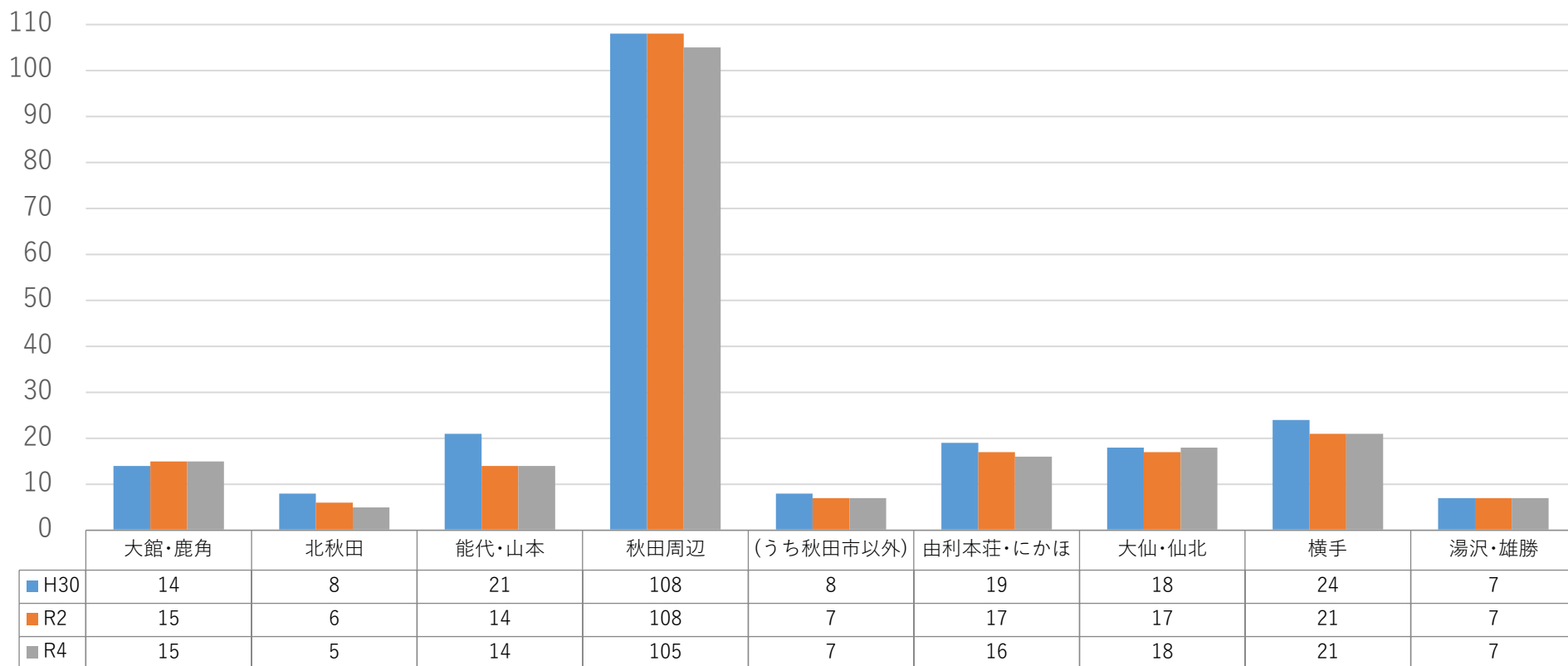
二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

外科

■ H30 ■ R2 ■ R4

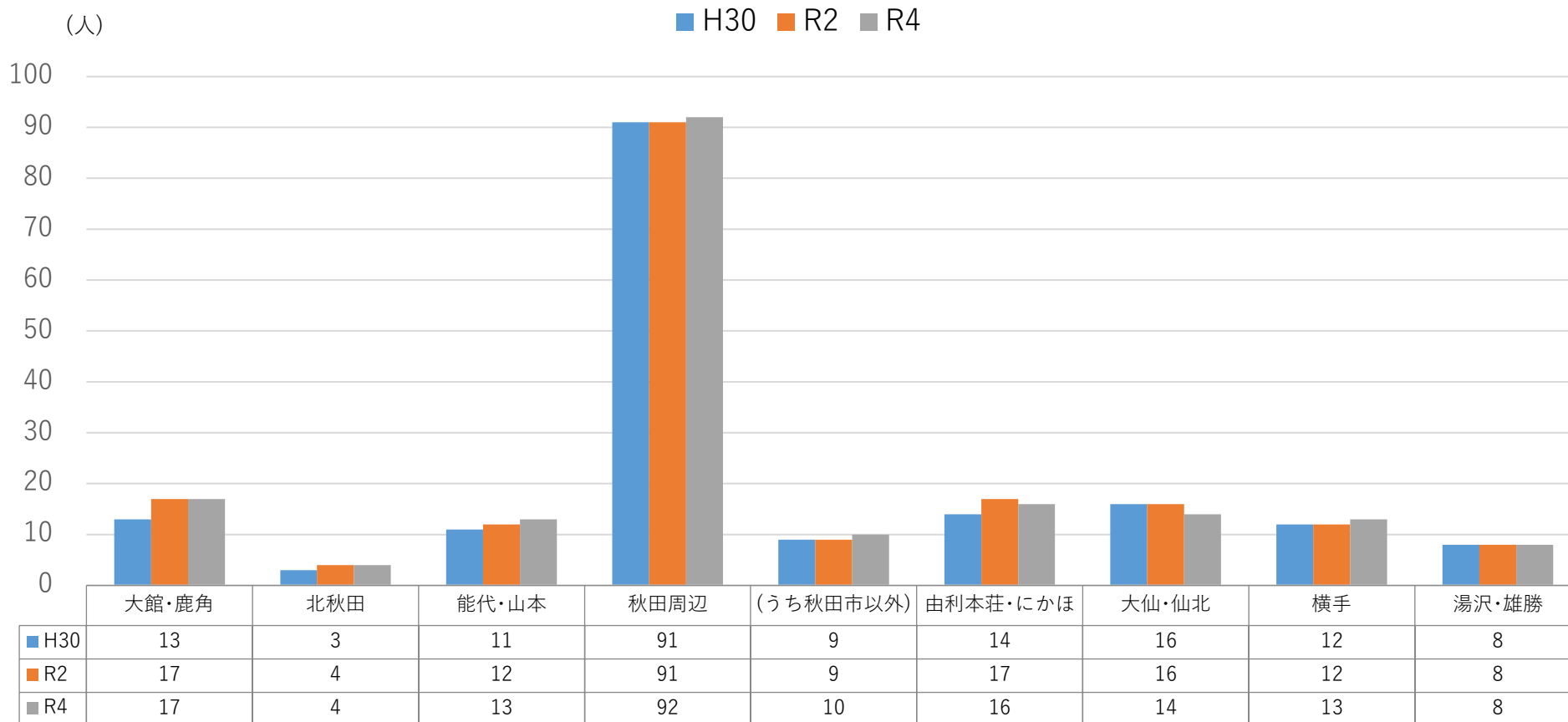
(人)



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

整形外科



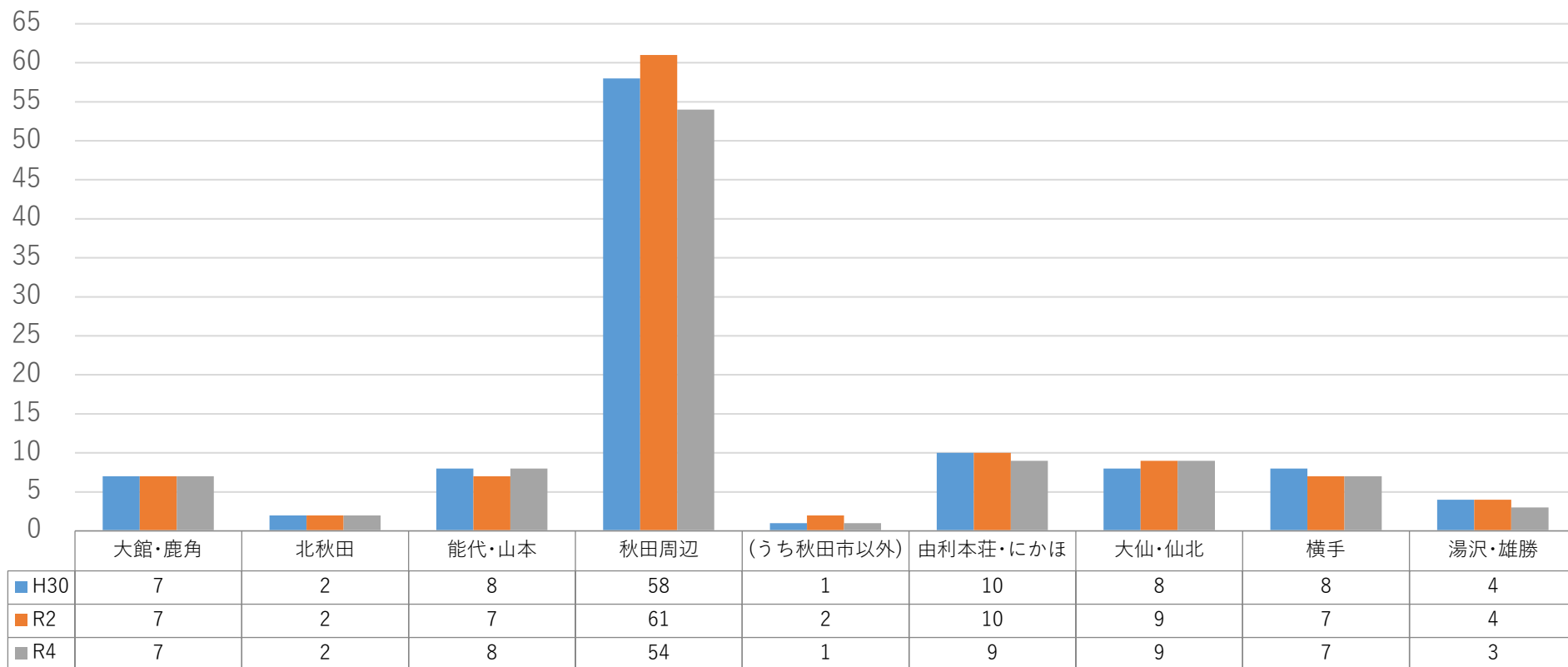
二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

産婦人科

■ H30 ■ R2 ■ R4

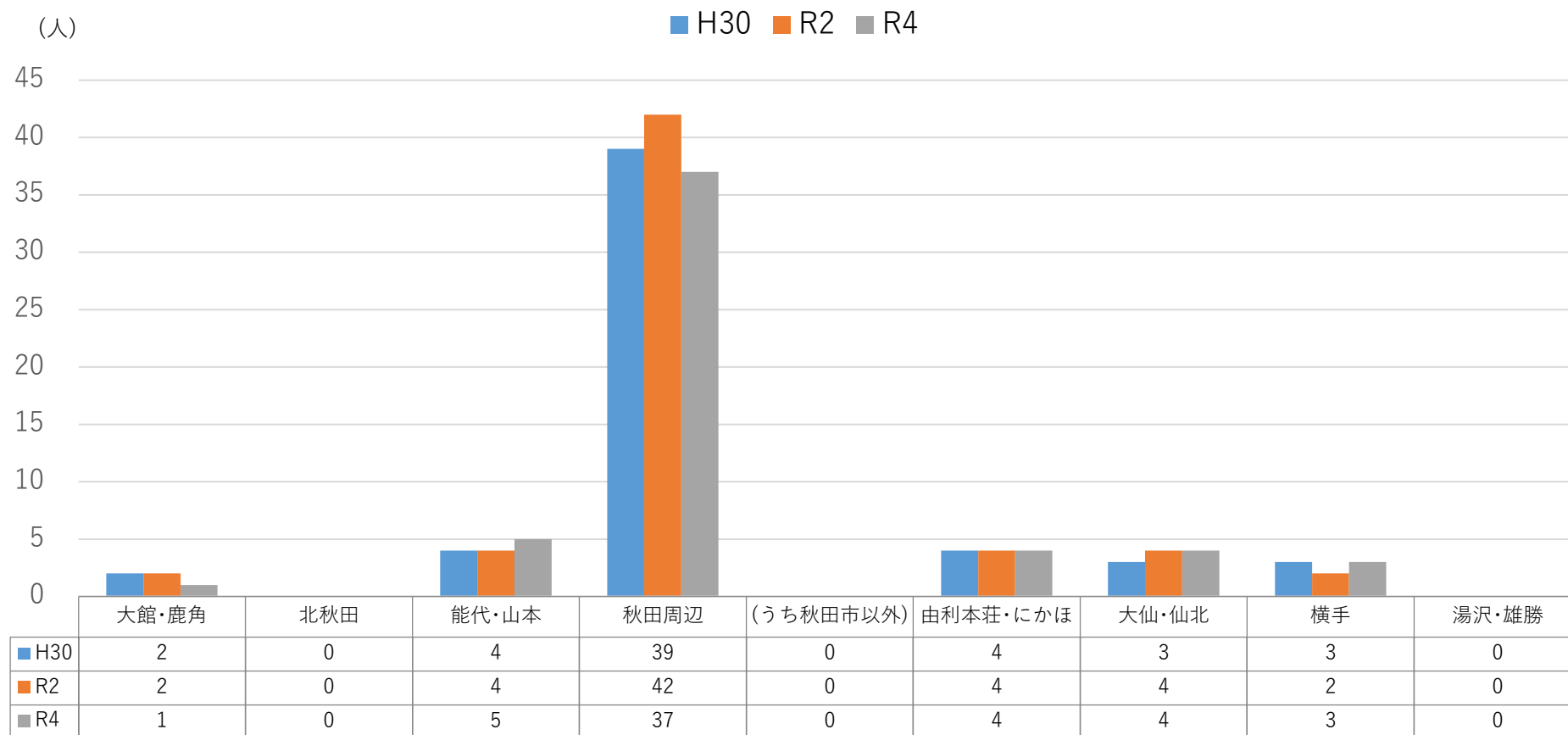
(人)



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

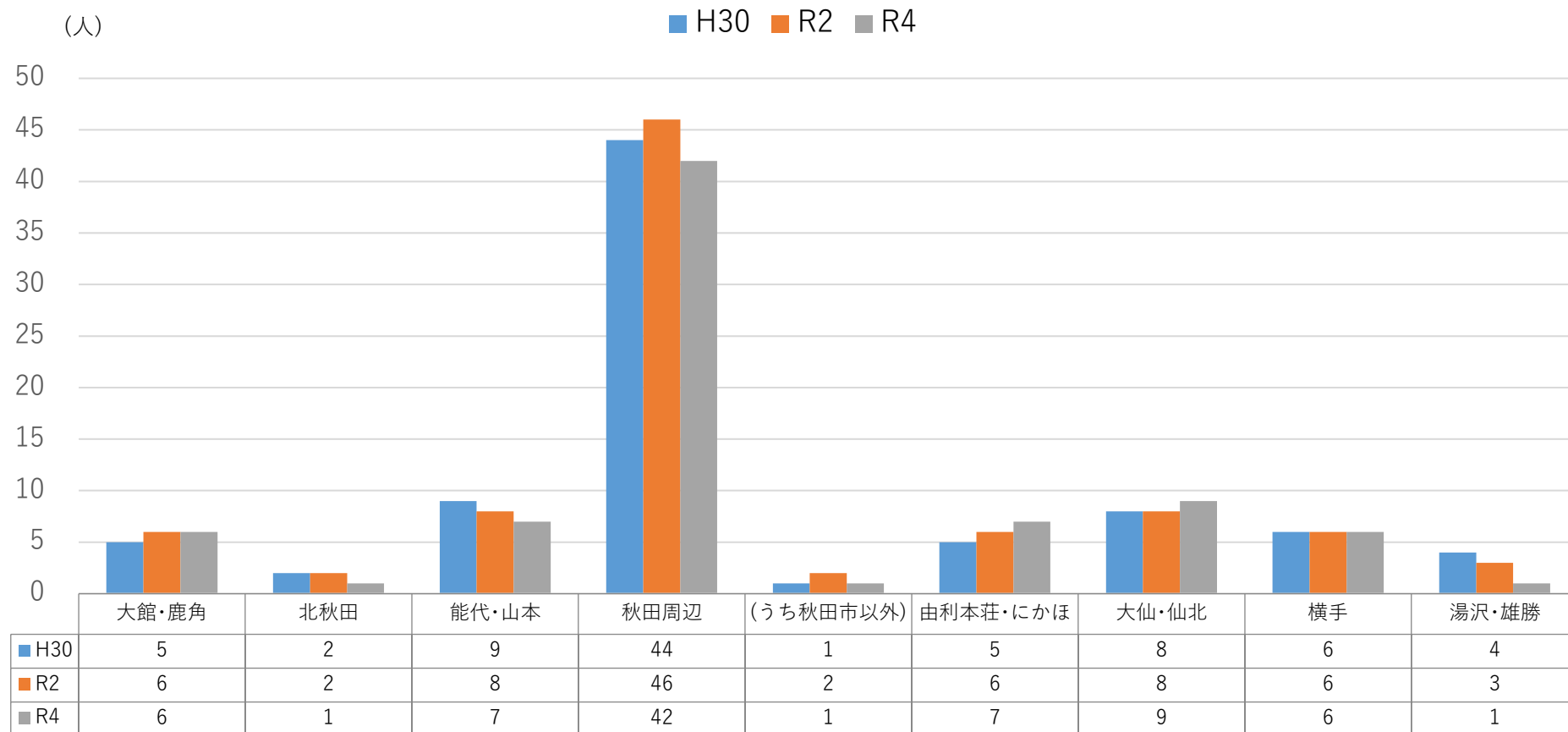
皮膚科



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

泌尿器科

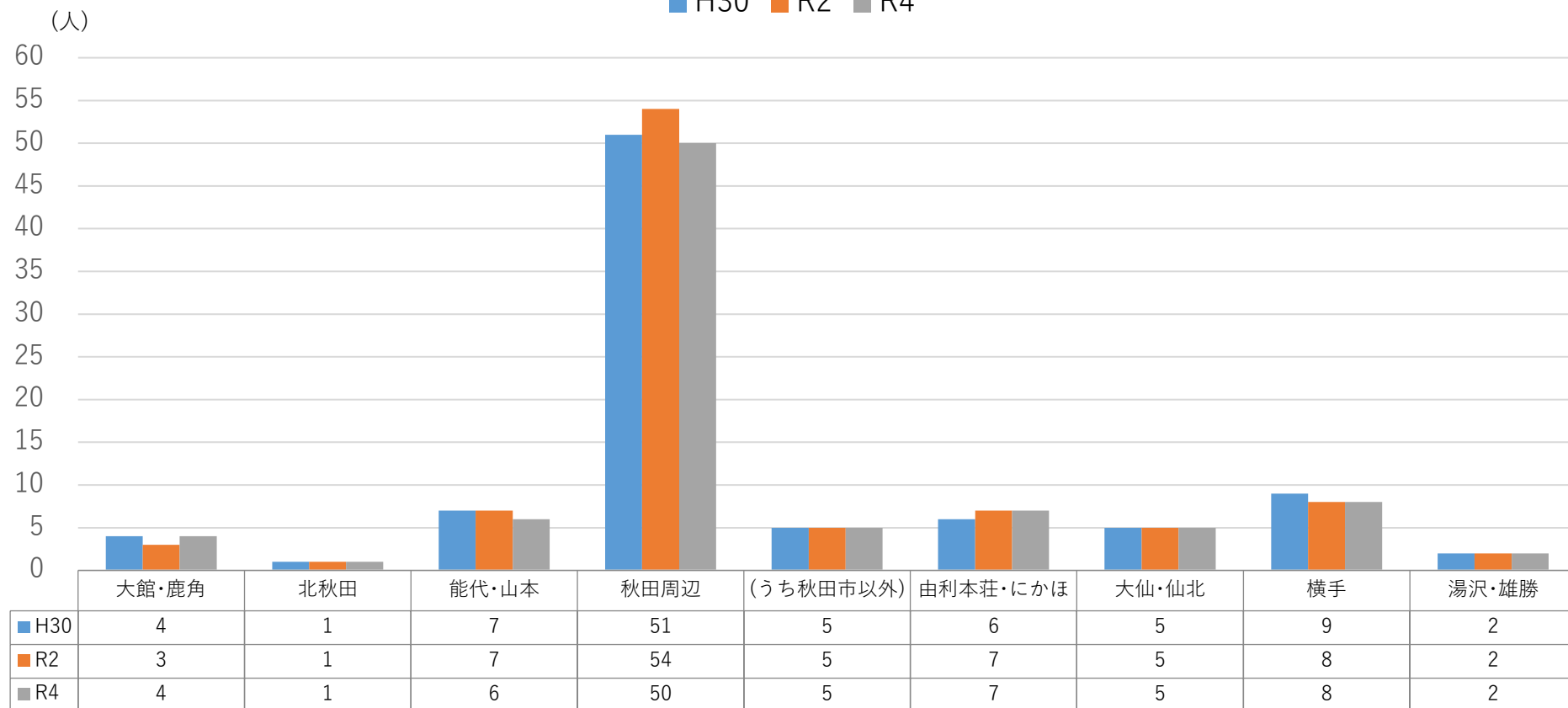


二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

眼科

■ H30 ■ R2 ■ R4

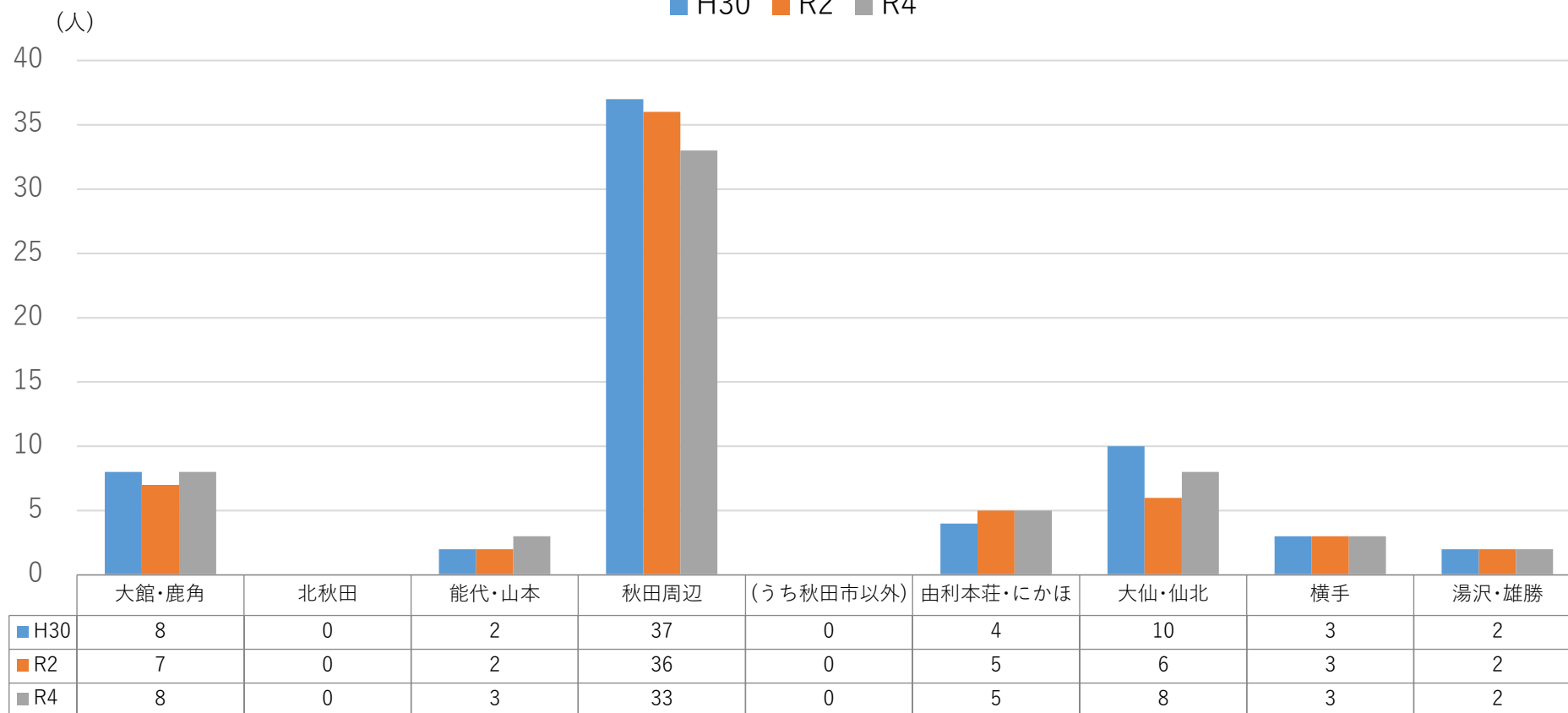


二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

脳神経外科

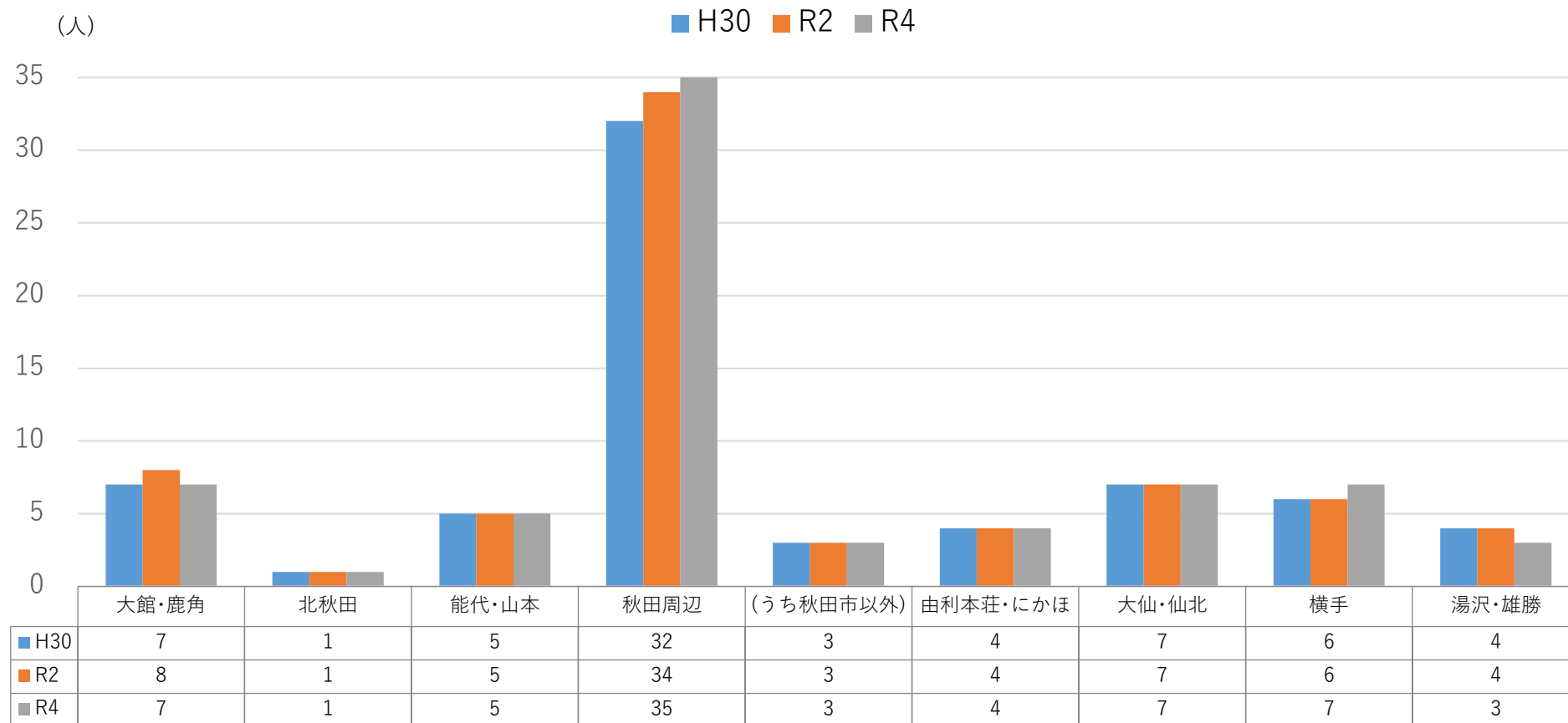
■ H30 ■ R2 ■ R4



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

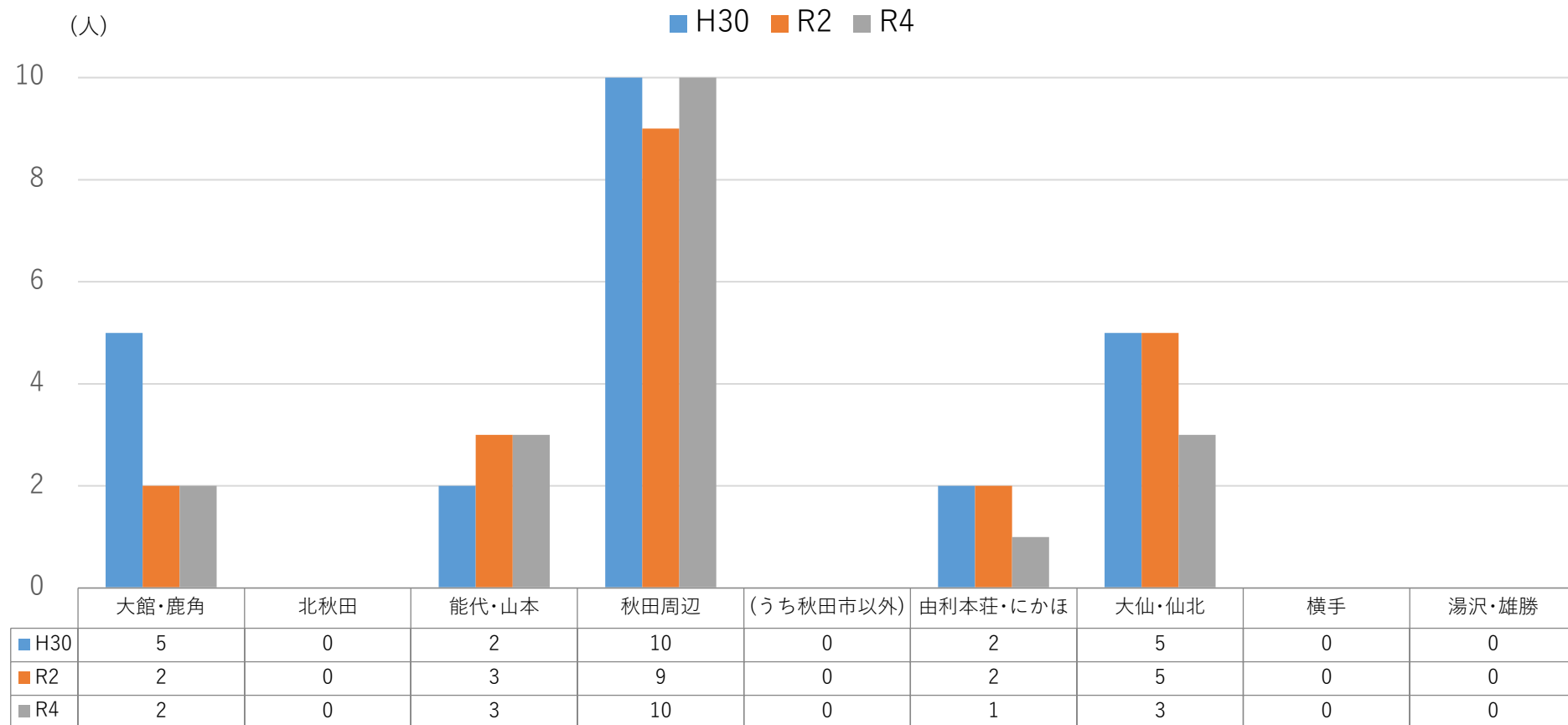
耳鼻咽喉科



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

リハビリテーション科



二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

その他（放射線科、麻酔科、臨床検査科、救急科など）

■ H30 ■ R2 ■ R4

